

編集後記

今号では、3 件の研究成果と新鉱物の命名についての記事があります。物性研だよりでは、その研究過程におけるエピソードを語って頂けることがあります。アマテラス石（表紙写真）という大それた命名の経緯も大変面白いので是非ご覧下さい。最初の研究成果では、光電子分光による「電子の地図」から、スキルミオンのメカニズムが電子構造に由来することを綺麗に説明されています。2 件目は、分子を設計どおりに合成できる高い技術力に基づいた新しい分子磁性体の開発の成果です。3 件目は、物性研だよりの常連の井上先生のロドプシンの研究で、大分慣れてきましたが、生命が獲得した機能の不思議と、そこにある物理的(?)な仕組みには感嘆するところです。

今号でも多くの受賞記事が掲載されていますが、川畑先生の受賞記事では、物性物理の新たな研究領域というか、そのものを見直す提案がされています。

また、行く人来る人ではありませんが、山室先生の退任と古府先生の着任のご挨拶があります。山室先生の記事では、物性研の中に新しい分野を持ち込まれたご苦勞を語られている一方で、古府先生では、強相関系のバリバリ固体物理からイオン液体へと大きく異なる分野を移った中で、一見全く違う物質の間の共通点を実感され、物理現象や法則に普遍性について語られています。それにもまして、金道先生とのお好み焼き対決が楽しみなところです。

この編集後記を書いているのは、令和 8 年度からの物性研の第 4 世代への改組の準備がほぼまとまった 2025 年 12 月初旬ですが、皆様のお手元に届く頃には、東大については国際卓越研究大学の採択の結果、そして、物性研の第 18 代所長が決まっています。果たして、

鈴木 博之

物性研だよりの購読について

物性研だより発行のメール連絡を希望される方は共同利用係まで連絡願います。

また、物性研だよりの送付について下記の変更がある場合は、お手数ですが共同利用係まで連絡願います。

記

1. 送付先住所変更（勤務先⇔自宅等）
2. 所属・職名変更
3. 氏名修正（誤字脱字等）
4. 配信停止
5. 送付冊数変更（機関送付分）
6. メール配信への変更

変更連絡先：東京大学物性研究所共同利用係

〒277-8581 柏市柏の葉 5-1-5

メール：issp-kyodo@issp.u-tokyo.ac.jp